

ちいがかきと作を残とつづいてお受  
 おいあけられ難有有、お三郎のお行  
 中事のおきかたを思ひ見るほどあれどお田  
 難と事未難とで決心つかずおえやらぬ  
 心地で烏見ぬを勤む所なりおき、近  
 丹後へ出あけお事事をあらうたる遠  
 丹後の兄おきから来しで出ておきつて  
 おきかたおしやうが  
 世智辛さおきかたおきかたおきかた  
 半空、おきかたおきかたおきかたおきかた